

7 バス利用者に対する意識調査結果

(1) アンケートの実施概要

① アンケートの目的

市民意向調査は市民全体を対象としており、サンプル数が少ないバス利用者の意向を補完するため、バス利用者を対象とするアンケートを実施した。

② 実施方法

以下のバス停において、バスを待っている利用者の方にアンケート票を配布し、その場で回答していただき回収した。

図 バス利用者アンケート

調査箇所	青梅駅、東青梅駅北口・南口、河辺駅北口・南口、小作駅西口・東口
調査日時	・3月6日（火）午後1時50分から10時まで ・3月7日（水）午後2時から5時40分まで
回収数	102票

③ 調査票

調査票を以下に示す。

調査票番号	調査バス停 青 東北 東南 河北 河南 小東 小西
青梅市の公共交通に関するアンケート	

現在、青梅市では、バス交通の今後のあり方を検討するため、バス利用者の方にアンケート調査を行っています。

(1) あなたのことについてうかがいます。

性 別	1)男性 2)女性
年 齢	1)14歳以下 2)15～22歳 3)23～44歳 4)45～64歳 5)65～74歳 6)75歳以上
職 業	1)会社員等の勤め人 2)自営業 3)パート・アルバイト 4)専業主婦、家事手伝い 5)学生、生徒、児童 6)無職 7)その他
今回の外出目的	1)通勤 2)通学 3)買物 4)病院 5)その他 → _____
降 車 バ ス 停	

(2) あなたがこれから利用するバスについてうかがいます。以下の項目ごとに、あてはまるものを選んでください。

時刻表や路線等の情報入手	1)特に不便は感じない 2)やや不便だが許容できる範囲 3)改善が望まれる → どのような形の情報提供が必要ですか _____
運 行 ル ー ト	1)特に不便は感じない 2)やや不便だが許容できる範囲 3)改善が望まれる → 寄ってほしい場所 _____
運 行 間 隔	1)特に不便は感じない 2)やや不便だが許容できる範囲 3)改善が望まれる → _____ 分間隔ぐらいが良い
始 発 時 刻	1)特に不便は感じない 2)やや不便だが許容できる範囲 3)改善が望まれる → 午前 _____ 時頃からあると良い
終 発 時 刻	1)特に不便は感じない 2)やや不便だが許容できる範囲 3)改善が望まれる → 午後 _____ 時頃までであると良い
時刻表通りの運行	1)特に遅れは感じない 2)やや遅れるが許容できる範囲 3)改善が望まれる → どのバス停で _____ どのような状況 _____
バ ス 停 の 位 置	1)特に不便は感じない 2)やや不便だが許容できる範囲 3)改善が望まれる → どのバス停を _____ どのように _____
鉄道との乗り継ぎ	1)特に不便は感じない 2)やや不便だが許容できる範囲 3)改善が望まれる → どの駅で _____ どのような状況 _____

(3) 現在、市内の一部の路線バスは、利用者の運賃収入だけでは、バス運行にかかる経費をまかなえない状況にあり、青梅市では路線バスの運行を維持するため、その赤字への補助として、年間約1億5千万円を税金によって公共負担しています。

① 青梅市の路線バスに関する公共負担の状況について、ご存知でしたか。(1つだけ)

1)知らなかった	2)路線バスの赤字は知っているが、赤字への補助は知らなかった	3)知っていた
----------	--------------------------------	---------

② 現在の、路線バスを維持するための公共負担について、どのように思いますか。(1つだけ)

- | |
|----------------------------------|
| 1)さらに公共負担を増やし、路線バスを改善していくべき |
| 2)公共負担をこのまま継続して、路線バスを維持していくべき |
| 3)公共負担は必要だが、現在の補助額は高いと思うので、減らすべき |
| 4)路線バスへの赤字補助は必要ない、廃止となってもやむを得ない |

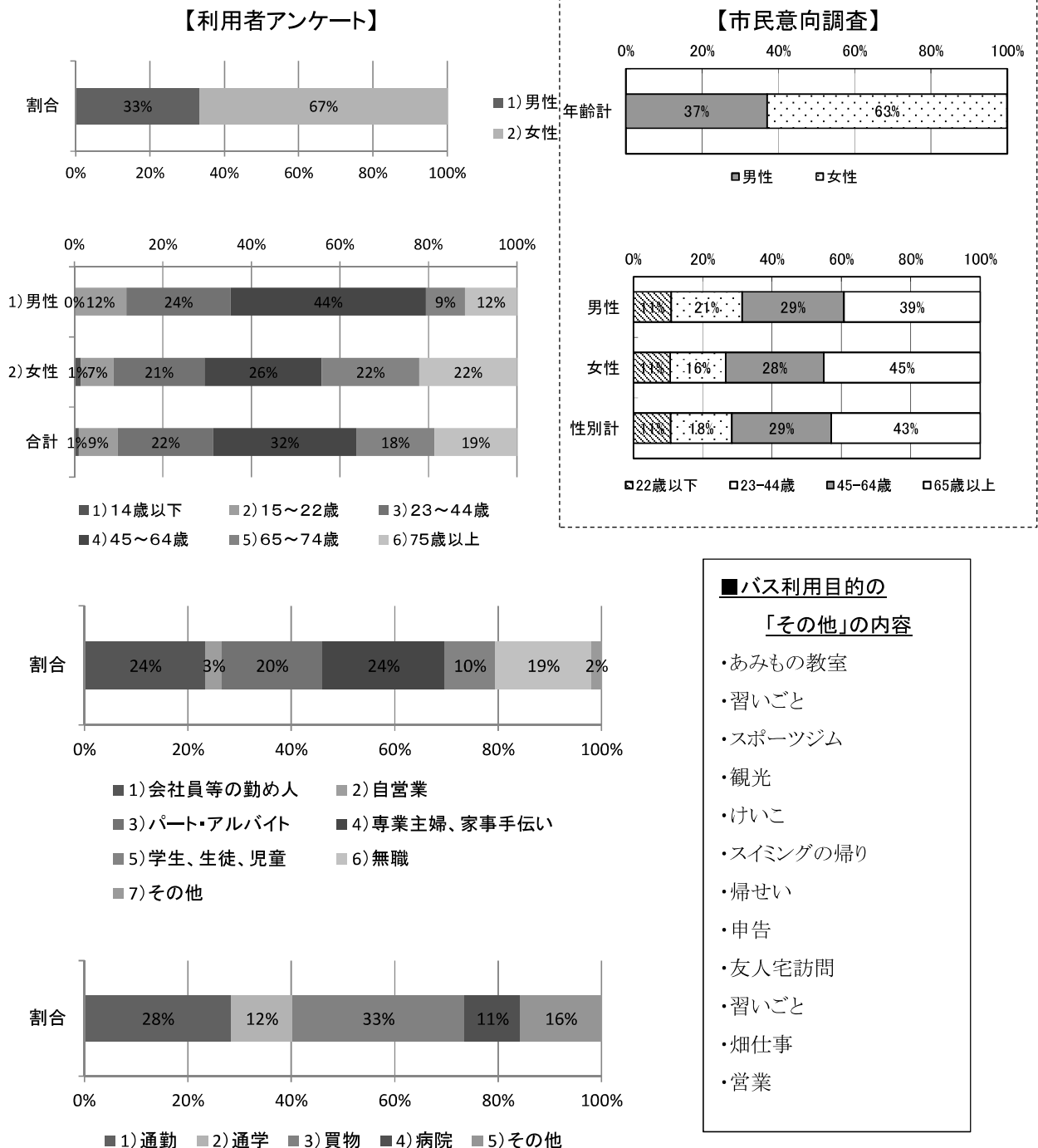
ご協力ありがとうございました。

(2) アンケートの集計分析

① 回答者の属性

- ・ バス利用者の属性は、市民意向調査と同様に女性が多いが、年齢層は調査時間帯の関係もあり 45～64 歳の割合が大きくなっている。
- ・ 職業は主婦、会社員、パート、無職の割合が大きい。
- ・ バスの利用目的は、買物、通勤の割合が大きい。

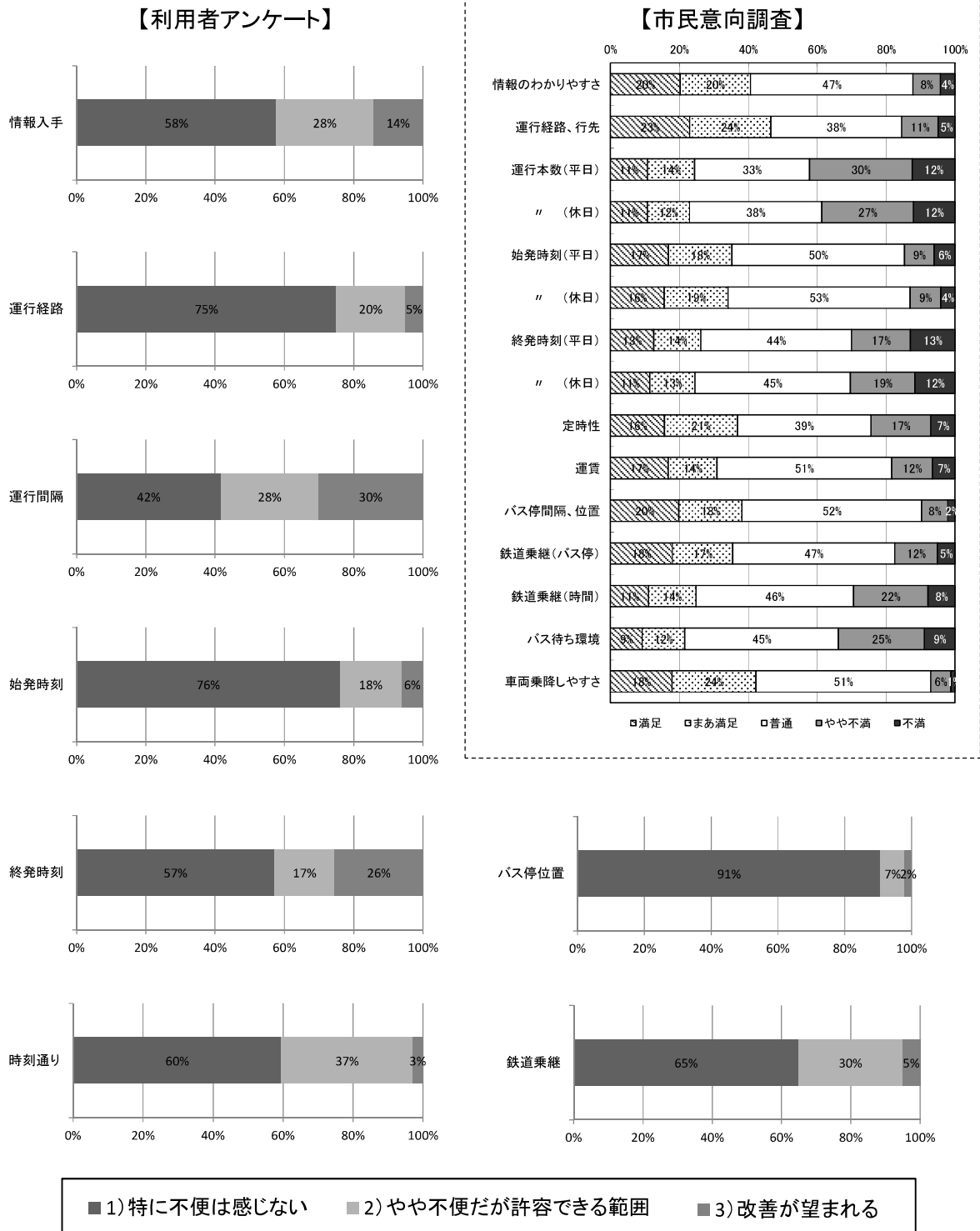
図 回答者の属性



② バス路線の評価

- 改善が望まれるのが高い項目は、市民意向調査と同様で、運行間隔と終発時刻となっている。
- 次いで情報入手についてが、改善が望まれるが高くなっている。
- また、許容範囲であるが、定時性や鉄道乗り継ぎに不便を感じている。

図 バス路線の評価



③ 公共負担について

- バス路線の経営状況や公共負担については、市民意向調査より知らない割合が高くなっている。
- 今後の公共負担については、現状のまま維持継続が約7割と、市民アンケートより高くなっている。

図 公共負担について

